

明日をつむぐ



きょうされん大会での甲冑づくり

特集

事業所紹介③

うろじの家ってどんなところ？

詳細記事はP4～5

- きょうされん第42回 全国大会 in あいち …… P2～3
- ミラクルファーム通信③ …………… P6
- とともに育つ会 港区懇談会 …………… P8

きょうされん 第42回 全国大会 in あいち



10月25・26日に名古屋市熱田区の国際会議場を会場にして、きょうされん第42回全国大会が開かれました。大会には全国から3,200名の利用者・家族や職員・関係者が集い、利用者の歌声や観光などの交流や「はたらく・くらす」「家族の明日を考える」などたくさんの方科会で学びあいました。

みなと福祉会でも利用者・職員が準備実行委員に加わり、大会の成功にむけて積極的にとりくんできました。当日は、200名をこす人たちが参加し開会全体会での合唱構成や自主製品の販売、分科会でのレポート報告など大会の成功に大きな力を発揮しました。



肉まん

他の事業所の授産製品は、陳列して販売するといういたってシンプルなか、電気のスチーマーを準備して、大がかりな肉まん販売となりました。温かい物が恋しくなる季節到来ということもあり、用意した肉まんは終了を待たずに全部売り切れてしまい、大盛況でした。実際に食べてみると美味しさは伝わりません。別会場では、肉まんの物語のレポート発表も行い、そこでは仲間たちが参加者の方に無料で肉まんを配りました。名古屋にもこんなにおいしい肉まんがあるのだと、全国から参加された方のいい思い出になったのではないかと思います。



(わーくす昭和橋)

販売コーナー也大賑わい

ぱんだふる

26日(土)には「ぱんだふる」のパンも出店しました。

総菜パンや菓子パンなど、33種類のパンを販売しました。当日は、全国からたくさんのお客さんが名古屋国際会議場に集まり、大変賑わっていました。おかげさまで、大盛況のうちにパンを完売することができました。お客さんの中には、実際にパンを製造している方もみえて、情報交流の機会にもつながりました。みなさんご協力いただき、ありがとうございました。



(うろじの家)

「つながろまい御膳」で 大奮闘!!

きょうされん大会初の事業所による弁当『つながろまい御膳』のしおかぜ作業所担当分は、25日(金)は55食、26日(土)は168食でした。当日は、仲間も職員も早出をして取り組みました。日頃盛り付けをしていない仲間も盛り付けに挑戦し、全員で力を合わせて完成させました。名古屋名物エビフライや静岡おでん、しおかぜ弁当定番の人参サラダなど東海4県の特産が入ったオリジナリティある「つながろまい御膳」でした。2日間分どちらも好評いただきました。



みんなでつくり
学び交流しました



仲間も実行委員で活躍

イルカ作業所から本間広明さん、本郷唯さんが実行委員に立候補しました。ピンチヒッターで水上日出男さんも実行委員に参加し、それぞれがそれぞれの持ち場で活躍しました。他法人、他事業所との仲間との交流が深まりました!

研修で学んだこと

分科会「地域・人づくり」に参加しました。社会福祉の現場は、今、全国どこでも深刻な人材難が広がっています。また、共同作業所づくりからスタートした多くの法人では、創設期の第一世代、第二世代の相次ぐ退職時期を迎え、理念や事業、地域づくり等、次世代への継承が待たなしの状況になっています。みなと福祉会としても、後継者育成が緊急の課題となっています。

「若手管理者研修」を、40歳前後の現場の管理者や責任者を対象に行っている法人の報告がありました。社会福祉法人の運営に必要な基礎的知識の学習などを通して世代交代をスムーズに進めることを目的としています。

みなと福祉会も創立30年来年に控え、世代交代の時期に来ています。世代交代・継承の目的を持って、幹部職員の育成は急務です。きょうされん「次世代施設長・管理者研修」を位置付けると共に、みなと福祉会独自の幹部職員の育成のための「研修制度」を構築していきたいと考えています。(法人事務局 久野賢一)

大会実行委員として

わたしは運営部の障害サポートという、大会中にサポートを希望する仲間と



ボランティアさんを繋ぐ仕事をしました。

きょうされんに加盟する事業所の職員が集まり、各々の職場の仕事と全国大会の仕事を並行して、体力も気力もいる日々でした。大会当日まで出来る限りの努力はしましたが、当日になって気付くこともあり、沢山の人の助けで乗り越えられました。

大変なことだらけでしたが、色々な優しさにふれられた素敵な機会でした。一緒に仕事をしてきたメンバー、あしたの家で支えてくれた皆さん、関わらせてもらった方々に感謝しています。

(あしたの家 谷澤萌子)